



最初にお読みください

---

---

---

---

---

# CentreCOM® ARX640S リリースノート

---

この度は、CentreCOM ARX640S をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。  
このリリースノートは、取扱説明書とコマンドリファレンスの補足や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。  
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

## 1 ファームウェアバージョン 5.1.2

---

## 2 本バージョンで修正された項目

---

ファームウェアバージョン **5.1.0** から **5.1.2** へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 2.1 tcpOutRsts MIB (.1.3.6.1.2.1.6.15.0) を正しく取得できていませんでしたが、これを修正しました。
- 2.2 snmp-agent ipv6 trap-source コマンドにて、インターフェースを指定しても設定ができませんでしたが、これを修正しました。
- 2.3 センター、拠点間の IPsec 構成にて、センタールーター上で clear isakmp sa、clear ipsec sa コマンドを繰り返し実行しているとリポートしてしまいましたが、これを修正しました。
- 2.4 logging ipv6 source コマンドの入力ができませんでしたが、これを修正しました。
- 2.5 show access-list ip、show access-list ipv6 コマンドにて、アクセスリスト名を指定した場合でも全てのアクセスリストが表示されてしまいましたが、これを修正しました。
- 2.6 複数のイベントトリガー（キープアライブ）の設定を行ったにも関わらず、1つの監視対象のみがキープアライブトリガーが動作していませんでしたが、これを修正しました。
- 2.7 SNMP 機能において、取得する MIB 情報のうちインターフェース情報を取得できなくなる場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 2.8 BVI インターフェースを経由してルーティングを伴う通信を内部で破棄していましたが、これを修正しました。
- 2.9 UPnP 機能を使用する際に、UPnP にて外部インターフェースで指定していないインターフェースの DHCP クライアントが動作するとリポートしてしまいましたが、これを修正しました。

- 2.10 no snmp-agent ipv6 trap-source コマンドを実行するとエラーとして拒否していましたが、これを修正しました。
- 2.11 no interface bvi コマンドにて、BVI インターフェースの削除ができませんでしたが、これを修正しました。
- 2.12 BVI インターフェースを経由して、ブリッジインターフェースにパケットを転送する際に、全てのブリッジインターフェースに対してフラッディングが発生していましたが、これを修正しました。
- 2.13 EtherIP トンネルにてブリッジを行う場合に、トンネル経由で受信したフレームを再度カプセルングして送り返す場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 2.14 センター経由での拠点間通信において、IPsec 通信が高負荷の状態になるとリポートしてしまうことがありましたが、これを修正しました。
- 2.15 IPsec トンネルと EtherIP トンネルを併用した場合に、BVI インターフェースを経由しての L3 通信ができませんでしたが、これを修正しました。
- 2.16 Eth0 または Eth1 インターフェースを LAN 側のインターフェースとして使用している場合に、リンクアップしないと UPnP 機能を使用した通信ができませんでしたが、これを修正しました。
- 2.17 UPnP ポートマッピングの登録状況を確認するコマンドを実行した際に、使用する外部インターフェースの IP アドレスが割り当てられていないと、「0.0.0.0」以外の IP アドレスを表示していましたが、これを修正しました。
- 2.18 ブリッジ機能の使用時に、フォワーディングデータベースのスタティックエントリーを登録したままブリッジの設定を削除するとリポートが発生していましたが、これを修正しました。
- 2.19 bridge address コマンドを使用して特定のホストからのフレームを破棄するエントリーを作成した場合に、対象となるホストからフレームを受信すると正常に破棄しますが、破棄した後、誤って受信したフレームを転送するエントリーとして登録していたため、これを修正しました。
- 2.20 DHCP サーバーが DHCP クライアントに対して IP アドレスを配布できなくなる場合がありますでしたが、これを修正しました。

### 3 本バージョンでの制限事項

---

ファームウェアバージョン 5.1.2 には、以下の制限事項があります。

#### 3.1 USB デバイスを接続した状態での起動

 [「コマンドリファレンス」](#) / [「運用・管理」](#) / [「システム」](#)

USB デバイスを接続した状態で本製品を起動した場合、起動中に意図しないメッセージが表示され、また、起動後に USB デバイス関連のログが記録されないことがあります。表示およびログ記録だけの問題であり、USB デバイスの動作には影響ありません。

#### 3.2 erase flash コマンド

 [「コマンドリファレンス」](#) / [「運用・管理」](#) / [「ファイル操作」](#)

erase flash コマンドにて、フラッシュメモリー上に存在しないファイルを指定し実行すると暫くスリープ状態になります。スリープ状態の時に「Ctrl+C」キーを押下し処理を中断すると、show flash コマンドでファイルの表示ができなくなってしまいます。その場合は、ログアウトし再ログインを行ってください。

#### 3.3 PPP プロファイルの設定変更

 [「コマンドリファレンス」](#) / [「PPP」](#)

PPP プロファイルの設定を変更した場合、保存していない設定が削除されることがあります。その場合は再度設定してください。

#### 3.4 LCP Configure-Request の再送間隔

 [「コマンドリファレンス」](#) / [「PPP」](#)

LCP Configure-Request パケットの再送間隔が lcp timeout コマンドの設定値より短くなっています。

#### 3.5 BVI インターフェース

 [「コマンドリファレンス」](#) / [「ブリッジング」](#)

 [「コマンドリファレンス」](#) / [「IP ルーティング」](#) / [「IP インターフェース」](#)

- BVI インターフェース（ブリッジグループ全体を表す仮想的なインターフェース）では DHCP クライアント機能（ip address dhcp コマンド）を使用できません。
- BVI インターフェースを使用する場合に、ブリッジインターフェースでブリッジ機能を無効にすると、BVI インターフェース経由での L3 通信ができなくなる場合があります。

#### 3.6 OSPF インターフェース数

 [「コマンドリファレンス」](#) / [「IP ルーティング」](#) / [「経路制御 \(OSPF\)」](#)

OSPF セッションを確立可能なインターフェースの数は最大 20 です。

---

### 3.7 BGP Hold Time

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「IP ルーティング」 / 「経路制御 (BGP)」

BGP の Hold Time を 0 に設定しないでください。Hold Time を 0 に設定した場合、BGP ピアが再起動などのため再接続を要求してきても、本製品がこれを拒否するため、それ以降 BGP セッションを確立できなくなります。

---

### 3.8 IPv6 近隣要請 (NS) パケット

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「IPv6 ルーティング」

システム起動直後に受信した IPv6 近隣要請 (NS) パケットを破棄することがあります。

---

## 4 マニュアルの補足・誤記訂正

取扱説明書 (613-001384 Rev.A) とコマンドリファレンス (613-001491 Rev.D) の補足および誤記訂正です。

---

### 4.1 INIT スイッチによる USB メモリーからのリストア

 **参照** 「取扱説明書」 45 ページ

INIT スイッチを使ってバックアップファイルをリストアするときは、USB メモリーにリストア対象のバックアップファイルだけを入れてください。USB メモリーに複数のバックアップファイルが保存されていると、どのファイルがリストアされるかわからないためです。

---

### 4.2 サポートする USB 型データ通信端末

サポートする USB 型データ通信端末につきましては、弊社ホームページでご確認ください。

---

### 4.3 BVI インターフェース

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「インターフェース」

BVI インターフェースと Vlan タグパススルー機能を併用すると、トンネルインターフェースを通じて BVI インターフェースとの通信ができなくなります。

---

## 5 取扱説明書とコマンドリファレンスについて

最新の取扱説明書 (613-001384 Rev.A) とコマンドリファレンス (613-001491 Rev.D) は弊社ホームページに掲載されています。  
本リリースノートは、上記の取扱説明書とコマンドリファレンスに対応した内容になっていますので、お手持ちの取扱説明書・コマンドリファレンスが上記のものでない場合は、弊社 Web ページで最新の情報をご覧ください。

※ パーツナンバー「613-001491 Rev.D」は、コマンドリファレンスの全ページ (左下) に入っています。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>